



過去から未来へ 語り継ぎたい飛行機の物語

日本の翼 YS-11展

～半世紀以上飛び続ける、国産プロペラ機～

開催期間 2020年1月11日(土)～4月13日(月)



主催：あいち航空ミュージアム
特別協力：学校法人日本航空学園/日本航空大学、Aviation Wire株式会社、エアライナークラブ、株式会社テクノブレイン、有限会社トライスター、有限会社ハナブル（敬称略、順不同）

1962年8月30日、名古屋空港で初飛行した戦後初の国産旅客機「YS-11」。この機体が日本の航空史において果たした役割や開発秘話、その性能などをパネル展示や映像で紹介します。



写真提供：Aviation Wire株式会社

入館料のみでどなたでも観覧・参加できます

〒480-0202 愛知県西春日井郡豊山町大字豊場（県営名古屋空港内） **お問合せ** TEL:0568-39-0283 FAX:0568-29-2011（団体受付 TEL:0568-39-0285 FAX:0568-29-0322）

開館時間 午前9時30分～午後5時（最終入館は閉館の30分前） **休館日** 火曜日（祝日の場合は翌日）、12月31日、1月1日

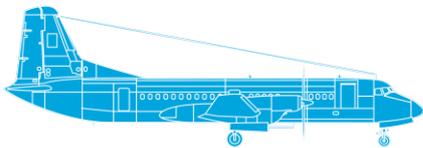
入館料 一般1,000円 大学・高校生800円 中・小学生500円 未就学児は無料 障がい者の方は無料（窓口にて手帳提示）

臨時休館のお知らせ
2020年1月8日(水)～10日(金)
3月4日(水)～ 6日(金)



※セット券や年間パスポートも販売中。詳しくはWEBサイトをご覧ください。

<https://aichi-mof.com>



日本の翼 YS-11展

～半世紀以上飛び続ける、国産プロペラ機～

Contents

パネル展示「出来事と人にかかわるエピソード15」 「技術と性能にかかわるエピソード15」

YS-11の誕生から引退までの秘話や、活躍した「5人のサムライ」の物語、さらには性能や豆知識などの15のエピソードについて、高さ約2mの大型グラフィックパネルで分かりやすく紹介します。



映像上映「日本の翼YS-11」(上映時間:約10分間) 「機械遺産としてのYS-11」(上映時間:約15分間)

YS-11の歴史や技術・性能を、この特別企画展のために新たに撮り下ろした映像で紹介します。※映像は交互に上映



完全再現！デジタル図鑑



CGで再現されたYS-11をあらゆる角度から鑑賞いただけます。
また、各部の解説を検索したり、操作してプロペラやハッチを動かしたりすることができます。



YS-11関連資料特別公開

YS-11の製造会社や関係者が所蔵していたYS-11の図面やフライトマニュアル、初フライト記念贈答品など、貴重なコレクション約20点を公開します。



場所 1階実機展示エリア 展示機YS-11付近

Special Event

YS-11シミュレーター “五つ星”チャレンジ



本格シミュレーターで**ゴールドパイロット**を目指せ！

あいち航空ミュージアムの人気プログラム「YS-11パイロットシミュレーター体験」で最高評価(五つ星)を獲得した方に、認定証及びミュージアム特製ウィングマーク(バッジ)をプレゼント！

「エキスパートモード」五つ星特典
ミュージアム特製ウィングマーク
(ゴールドパイロット)

「ノーマルモード」五つ星特典
ミュージアム特製ウィングマーク
(シルバーパイロット)



開催期間

1月15日(水)～4月13日(月)のうち
平日のみ

※詳しくはあいち航空ミュージアムWEBサイトへ

Special Talk Show

特別にお招きしたスペシャルゲストと、あいち航空ミュージアム館長 鈴木真二が、YS-11が日本の航空機開発に与えた影響や、当時の知られざる出来事などについて語ります。

1月18日(土) 13:30～14:30

「YS-11から三菱スペースジェットへ(仮題)」

ゲスト 三菱航空機株式会社(執行役員/業務部長) 梶谷啓介氏

3月22日(日) 13:30～14:30

「YS-11と東京五輪聖火輸送」

ゲスト 『1964東京五輪聖火空輸作戦』著者 夫馬信一氏



館長 鈴木真二
(東京大学未来ビジョン
研究センター特任教授)

場所 フライイングボックス前ステージ
(先着40名分の座席をご用意/立ち見可)